



2022年7月15日

各 位

株式会社スーパーバリュー  
代表取締役執行役員社長 岸本圭司  
(コード番号 3094)  
(問い合わせ先)  
常務取締役執行役員 中谷圭一  
電話 048-778-3222(代)

### 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2022年7月15日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2022年4月14日に公表しました通期業績予想を修正することを決議しましたので、お知らせいたします。

#### 記

通期業績予想の修正について

2023年2月期通期業績予想の修正 (2022年3月1日～2023年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	71,820	455	550	285	45.00
今回修正予想 (B)	69,672	10	100	50	7.91
増減額 (B - A)	△2,148	△444	△449	△234	△37.09
増減率 (%)	△3.0	△97.8	△81.8	△82.4	△82.4
(参考) 前期実績 (2022年2月期)	72,084	△803	△705	△829	△130.97

#### 修正理由

2023年2月期第1四半期累計期間におきましては、会員様に即日値引きの特典を展開し、売上高及び客数の回復に努めてまいりましたが、即日値引きの展開と同時にチラシ販促を停止した影響、販売価格のコントロール不足や新型コロナウイルス感染症に係る行動制限の緩和、競合他社等の影響もあり売上高は前年同期比89.0%となり、売上高の想定を下回る状況で推移いたしました。また、仕入先の見直しをはじめ、販売商品の改廃や在庫の適正化、値引きロス・廃棄ロスの削減による利益改善等を進めてまいりましたが、原材料不足、原材料価格の上昇及び円安等による仕入原価の上昇もあり売上総利益率は前年同期比1.7ポイント下回る19.6%となりました。販売費及び一般管理費は、店舗オペレーションの再度の見直しによる作業効率の改善と標準化を進め、徹底した経費節減の取り組みにより前年同期比95.7%と順調に推移しましたが、売上高、売上総利益が計画を下回ったことにより、営業損失、経常損失及び四半期純損失となり計画を下回る結果となりました。

以上のことから2023年2月期通期業績予想につきましては、当第1四半期累計期間の業績を踏まえ、2022年4月14日に公表いたしました通期業績予想(以下、「前回予想値」と言います)から以下のとおり修正いたします。

売上高は、鮮度・安さを追求しつつ、メリハリをつけ販売価格をコントロールし、値頃感ある価格で販売を進めるとともに、5月上旬よりお客様の強い要望もあり即日値引きからポイント付与に変更した会員様特典とチラシ販促を効率かつ政策的に展開、各種イベントの開催等で売上高・客数の回復に努めてまいりますが、当第1四半期累計期間までの実績から、前回予想を21億48百万円下回る696億72百万円に修正いたします。

営業利益は、売上総利益においては、継続して取り組んでいる仕入先の見直し、販売商品の改廃や在庫の適正化、値引きロス・廃棄ロスの削減、物流費の見直しを進め利益改善・確保に取り組んでまいります。また、販売費及び一般管理費は計画どおり推移しておりますので、店舗オペレーションを更に進め作業効率の改善と標準化を行い生産性の向上に努め、徹底した経費削減に取り組んでまいります。売上高の修正による影響が大きく、前回予想値を4億44百万円下回る10百万円に修正いたします。

また、営業利益の修正に伴い、経常利益は前回予想値を4億49百万円下回る1億円、当期純利益は、前回予想値を2億34百万円下回る50百万円にそれぞれ修正いたします。

なお、当社は、2022年7月15日開催の取締役会において、株式会社ロピア・ホールディングスとの間で、資本業務提携を行うことについて決議いたしました。

資本業務提携により、株式会社ロピア・ホールディングスは当社の筆頭株主となる予定であり、両社の事業上のシナジーを実現させ、両社の企業価値、ひいては株主価値の向上を図ることを目的として取り組んでまいります。現時点では、資本業務提携による当社の2023年2月期通期業績への具体的な影響額については未定であります。今後開示すべき事項が生じた場合には、速やかに開示いたします。

配当につきましては、2022年4月14日公表の予想より修正はありません。

※この資料に記載されております業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって業績予想数値と異なる場合があります。

以 上